Kamvas Pro 16 V2



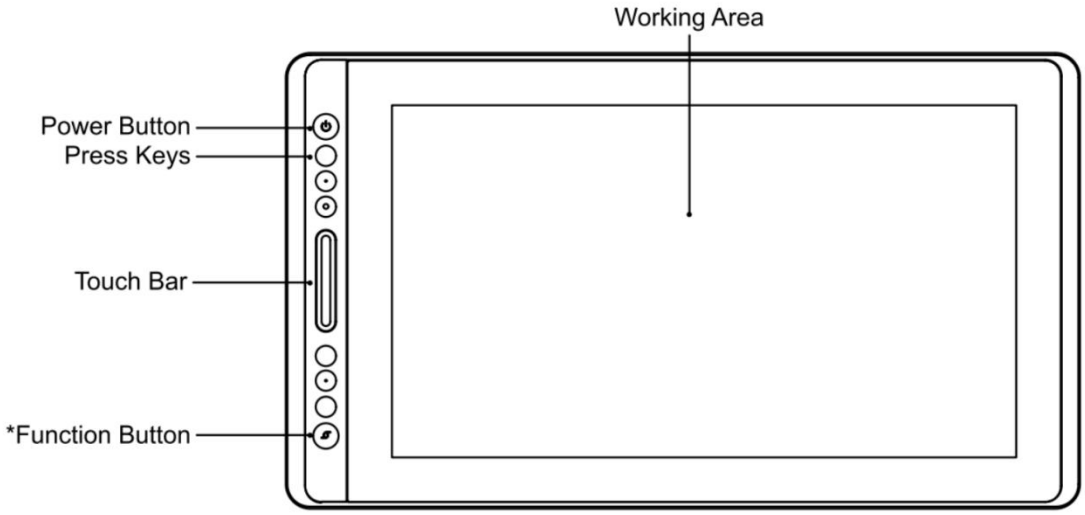
HUION Kamvas Pro 16 V2 ペンディスプレイをお選びいただきありがとうございます。本機は、プロからアマチュアの方まで効率的なデジタル描画を楽しむことができるペンディスプレイです。ブラシの太さ、濃さ、色を自在に変えながら、紙に書くような描き心地をデジタルペンと共にお楽しみください。

本製品を十分にご理解いただき、より快適にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになることをお勧めします。

注意：取扱説明書に掲載されている写真は、あくまでも参考であり、本製品の設計や機能をご理解いただくためのものです。デザインや仕様は予告なく変更される場合があります。

1. 製品紹介

1.1. 製品概要

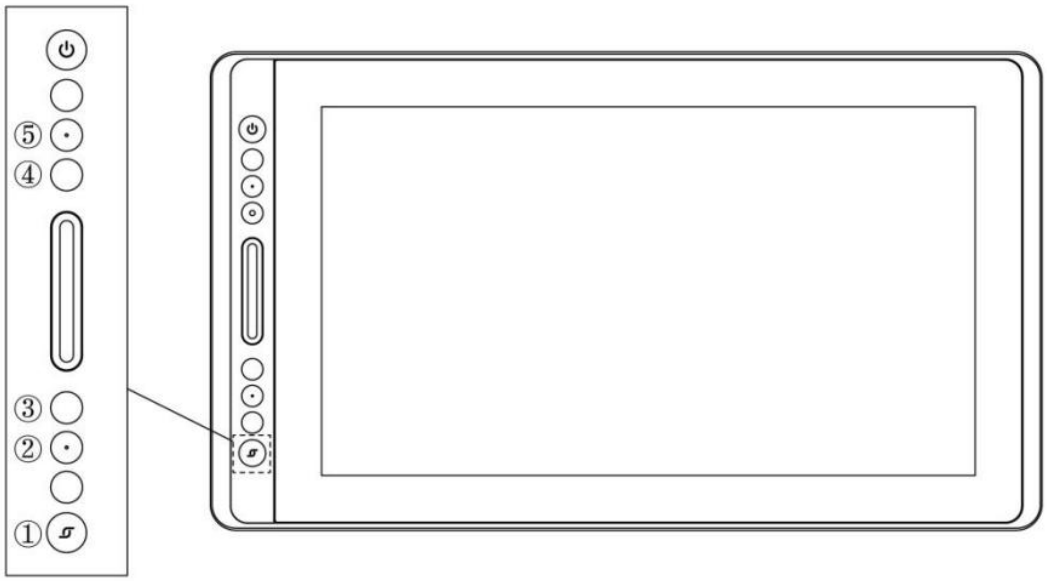


*** 機能ボタン:**

短く押す: タッチバーの機能を切り替える。

長く押す: OSD メニューを開く。

OSD メニューに入る:



1. OSD メニューが現れるまで約 3 秒間機能ボタン①を押します。 インジケーターのライトが、

同時に光り、②③④⑤の機能が OSD 機能に変わります。

2. OSD メニューでは、②③④⑤の機能は、以下ようになります:

② 自動: メニューに入る前に、②の機能は、自動で調整されます。 メニューに入った後は、この機能は、戻るに変わります。

③ メニュー: メニューに入る前は、③の機能は、メニューを表示させることです。メニューに入った後は、この機能は、確定に変わります。

④ -: メニューに入った後は、④の機能は、下/減らすに変わります。

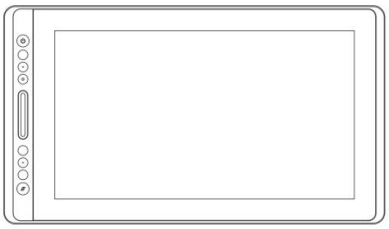
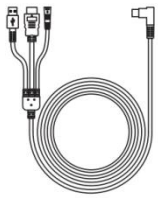
⑤ +: メニューに入った後は、⑤の機能は、上/増加するに変わります。

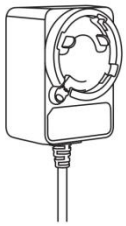
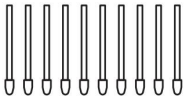
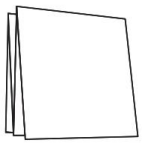
OSD メニューから出る:

機能ボタン①をインジケーターの光が消えるまで約 3 秒間押してください。②③④⑤の機能は、ショートカット機能に戻ります。

1.2. 付属品

開梱後、以下の部品が届いていることを確認してください:

Kamvas Pro 16 V2 ペンディスプレイ * 1	
3in1 ケーブル (1.8m) * 1	

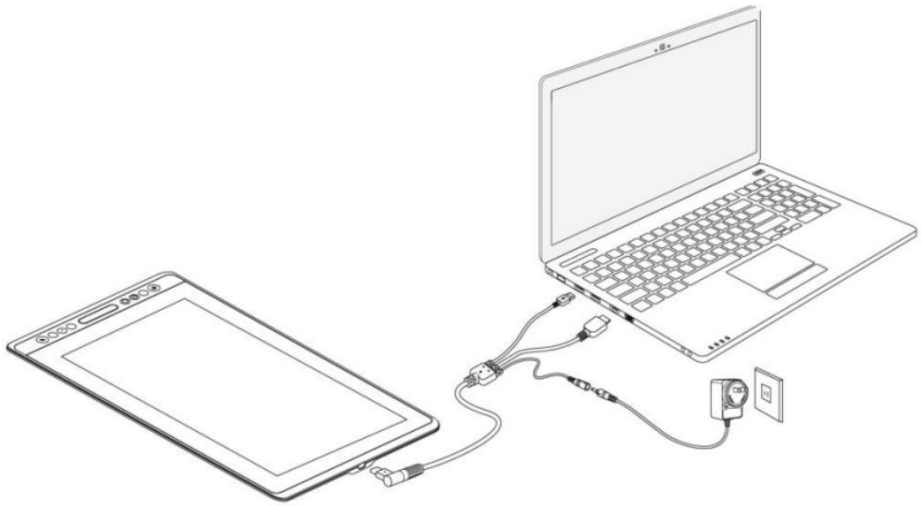
電源アダプター ×1	
PW600L デジタルペン * 1	
PH06 ペンホルダー * 1	
PN06 ペン先 * 10 (ペンホルダーに付属)	
クイックスタートガイド * 1	

2. 接続する

① 3-in1 ケーブルにペンディスプレイをコンピューターに接続します;

② 電源アダプターを 3-in-1 ケーブルと、コンセントに接続します;

③ ペンディスプレイの電源ボタンを押して、デバイスを立ち上げます。



3. ドライバをインストールする

3.1. Windows

ご注意:

① ドライバをインストールする前に、すべてのグラフィックソフトウェアとアンチウイルスソフトウエアを終了してください。

② お使いのデバイスの OS が Windows 10 以降であることを確認してください。

③ 接続に失敗する場合は、ドライバまたはパソコンを再起動してください。

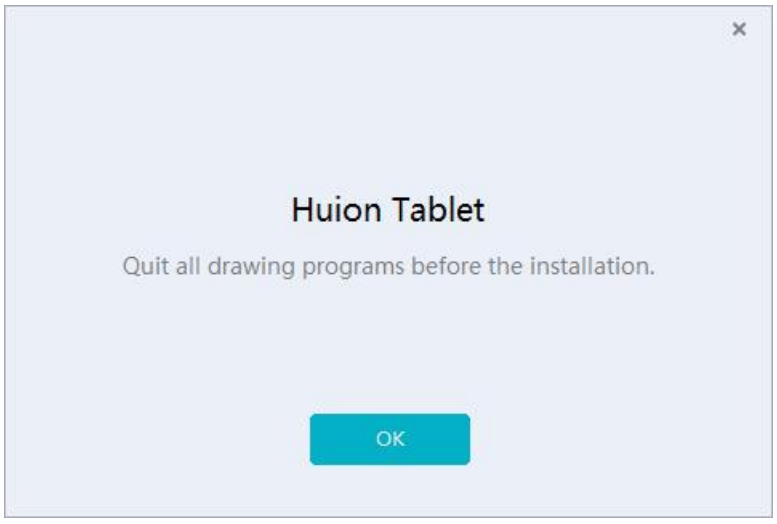
④ ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションによってはキーボードに原因不明な問題が発生する場合があります。その場合は、ドライバーを再インストールしてください。これにより、キーボードはデフォルト設定に戻ります。

3.1.1. ドライバーのインストール方法

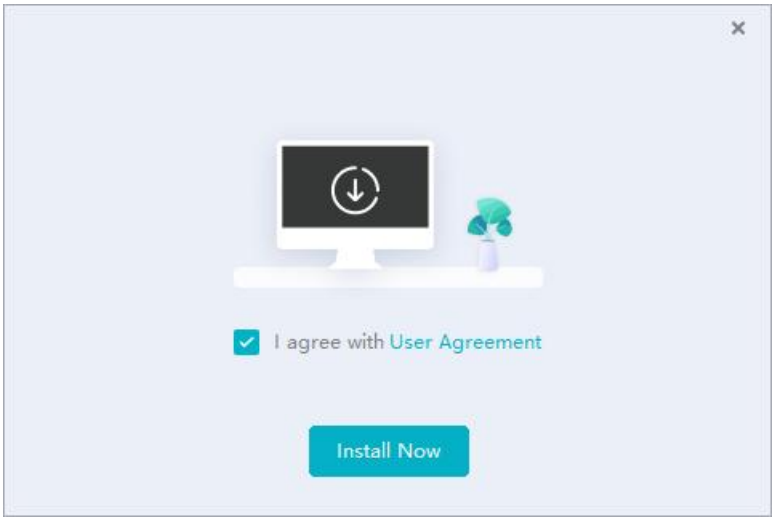
1.コンピューターにペンディスプレイを接続します。

2.デバイス用の最新ドライバーを入手するには、Driver-Kamvas Pro 16 V2 をクリックしてください。

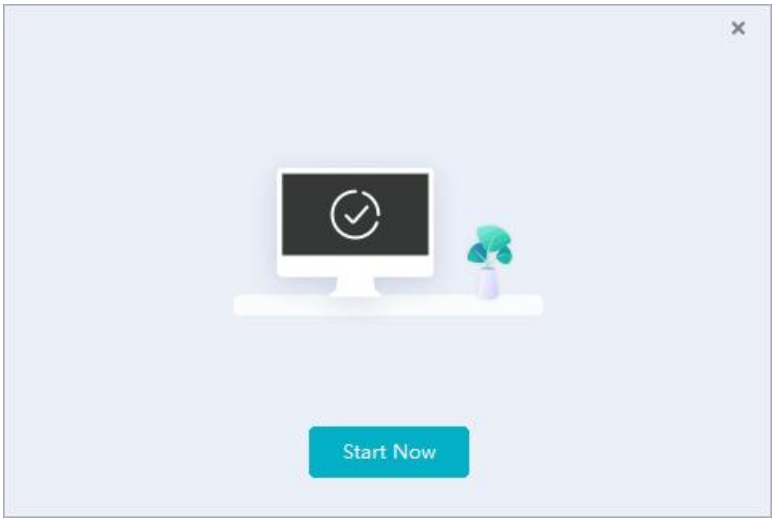
1. ドライバをダブルクリックし、「OK」をクリックして次に進みます。



2. 利用規約に同意して、「今すぐインストール」をクリックします。



3. インストールが完了したら、「今すぐ試す」をクリックします。



6. ドライバを起動し、Kamvas Pro 16 V2 の画像が表示されたら接続完了です。


Huion Tablet
私のデバイス
Kamvas pro 16 V2

3.2. macOS

ご注意:

① お使いのデバイスの OS が macOS10.12 以降であることを確認してください。

② 接続に失敗した場合は、ドライバまたはコンピュータを再起動してください。

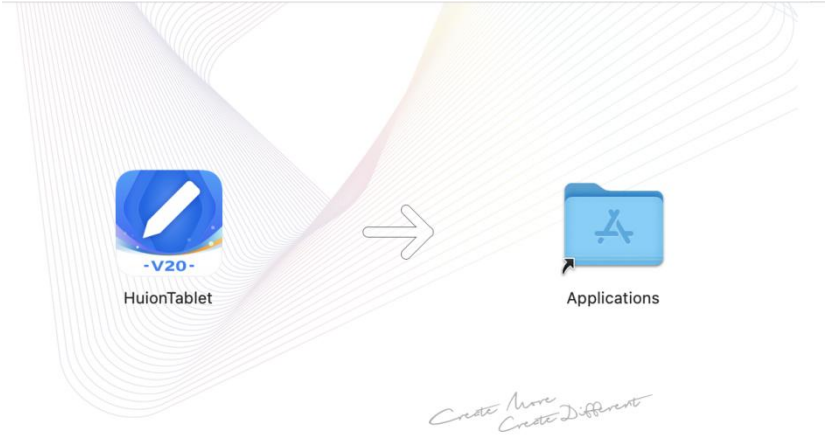
③ ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションでペンディスプレイの筆圧感知が効かないなどの問題が発生することがあります。この場合、ドライバーを再インストールすれば、ペンディスプレイはデフォルト設定に戻ります。

3.2.1. ドライバーのインストール方法:

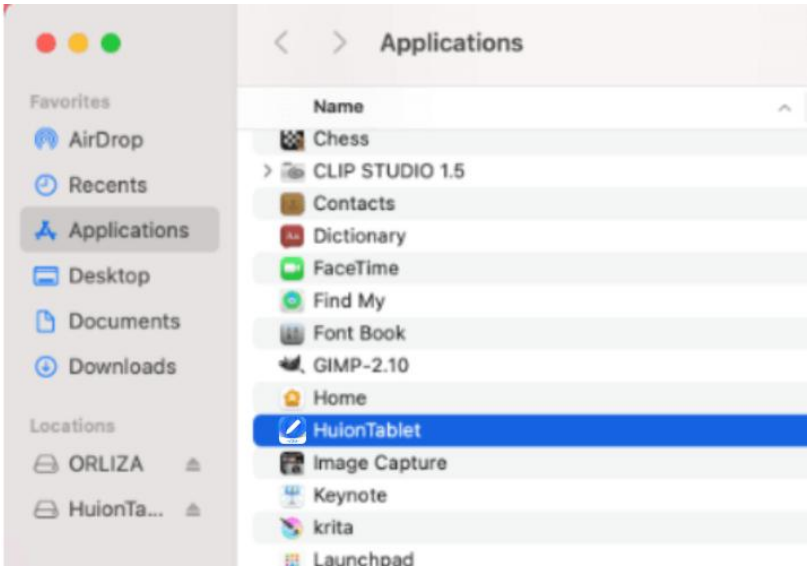
1.コンピューターにペンディスプレイを接続します。

2.デバイス用の最新ドライバーを入手するには、Driver-Kamvas Pro 16 V2 をクリックしてください。

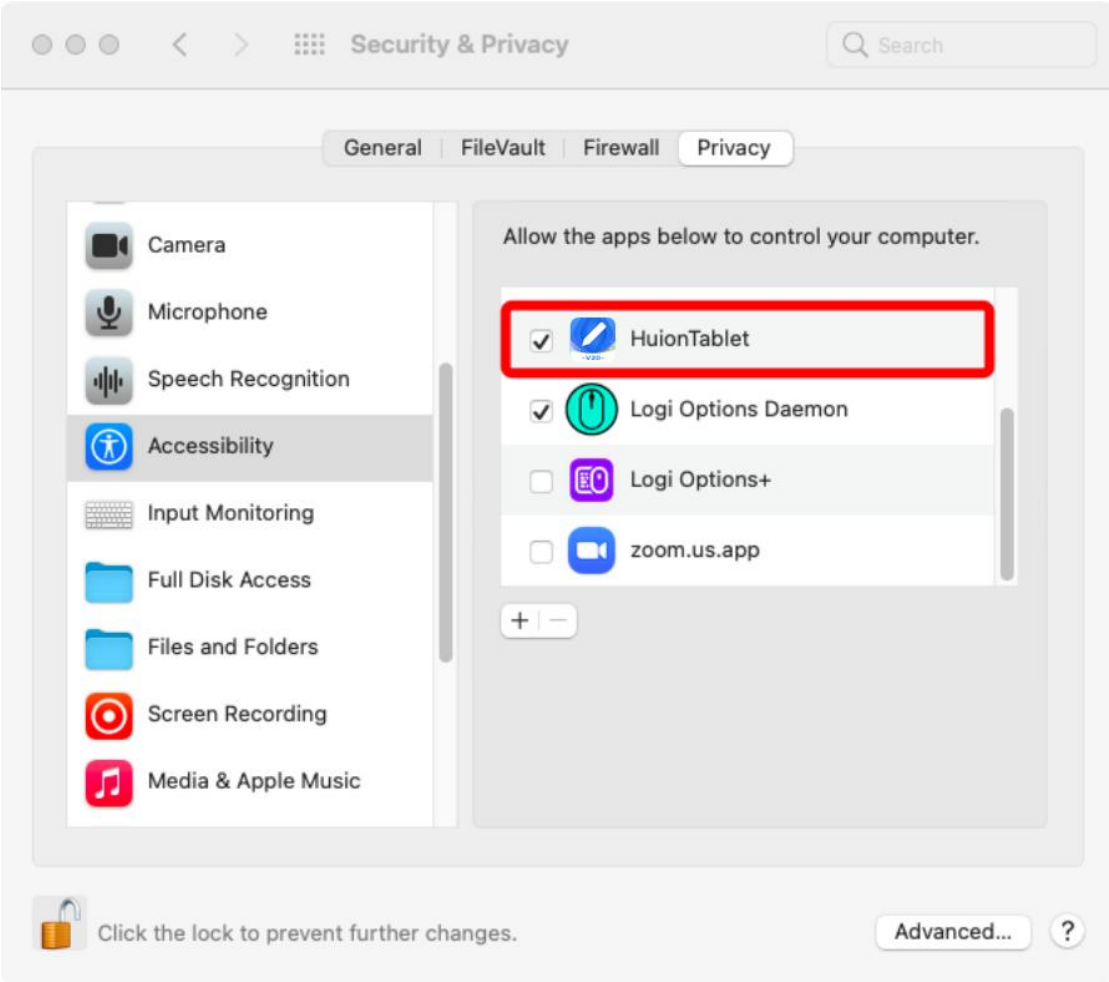
1. ドライバーファイルを解凍し、"HuionTablet"アイコンを"Applications"フォルダにドラッグしてください。



2. フォルダを開き、HuionTablet ドライバアプリをダブルクリックします。



3. ペンタブレットを Mac に接続し、「システム環境設定を開く」をクリックします。「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「アクセシビリティ」と進み、鍵のアイコンをクリックして設定を解除します。HuionTablet ドライバアプリ左側のチェックボックスにチェックを入れ、アクセシビリティを有効にします。次に、鍵アイコンをクリックして、設定をロックします。



6. ドライバを起動し、Kamvas Pro 16 V2 の画像が表示されたら接続完了です。



4. デジタルペンの使用方法

デジタルペンは、ユーザーとデバイスの間でのシームレスな操作を可能にし、描画、筆記、オブジェクトの移動、カスタマイズ可能なペンボタンの使用などを可能にします。

ペンの持ち方:

ペンを持つときと同じようにデジタルペンを持ちます。親指や人差し指でペンのキーを押せるように向きを調整してください。使用時に誤って触れないようご注意ください。

注意: デジタルペンを使用しないときは、ペンディスプレイの上に置かないでください。上に置くと、マウスが正しく動作しなかったり、コンピュータがスリープモードに入るのを妨害する可能性があります。

カーソルの移動:

ペンディスプレイの作業範囲の少し上にペンを画面に触れることなく移動させると、画面上のカーソルがそれに応じて新しい位置に移動します。

クリック:

ペン先でペンディスプレイの作業領域をタップしてクリックを登録し、画面上のコンテンツを選択またはハイライトします。ペン先で長押ししてドラッグすると、選択したアイテムが移動します。ダブルクリックすると、選択したアイテムが開きます。

移動:

ペン先でアイコンやファイルを選択し、画面上でペン先をスライドさせて目的の場所に移動させます。

ペンボタンの使用:

デジタルペンはカスタマイズ可能なペンボタン機能に対応しており、ユーザーはドライバで機能を設定することができます。ペンボタンは、ペン先とペンディスプレイのスクリーンまでの垂直距離が感知可能な高さ(10mm)以内であれば機能します。ペンボタンの機能を無効にしたい場合は、ドライバでペンボタンを機能なしに設定することができます。

ペン先を交換する:

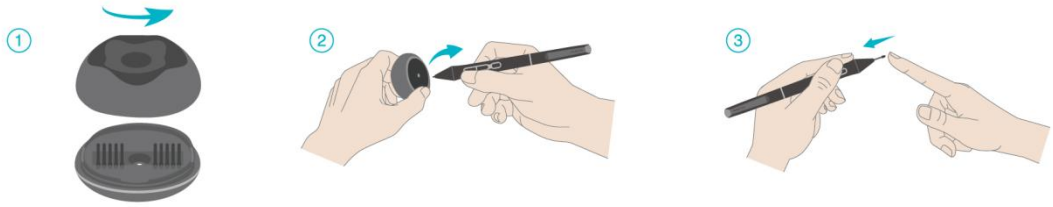
デジタルペンのペン先が著しく磨耗している場合は、新しいペン先に交換してください。

ペン先の交換方法は以下の通りです:

①ペンホルダーを開け、交換用のペン先を取り出します。

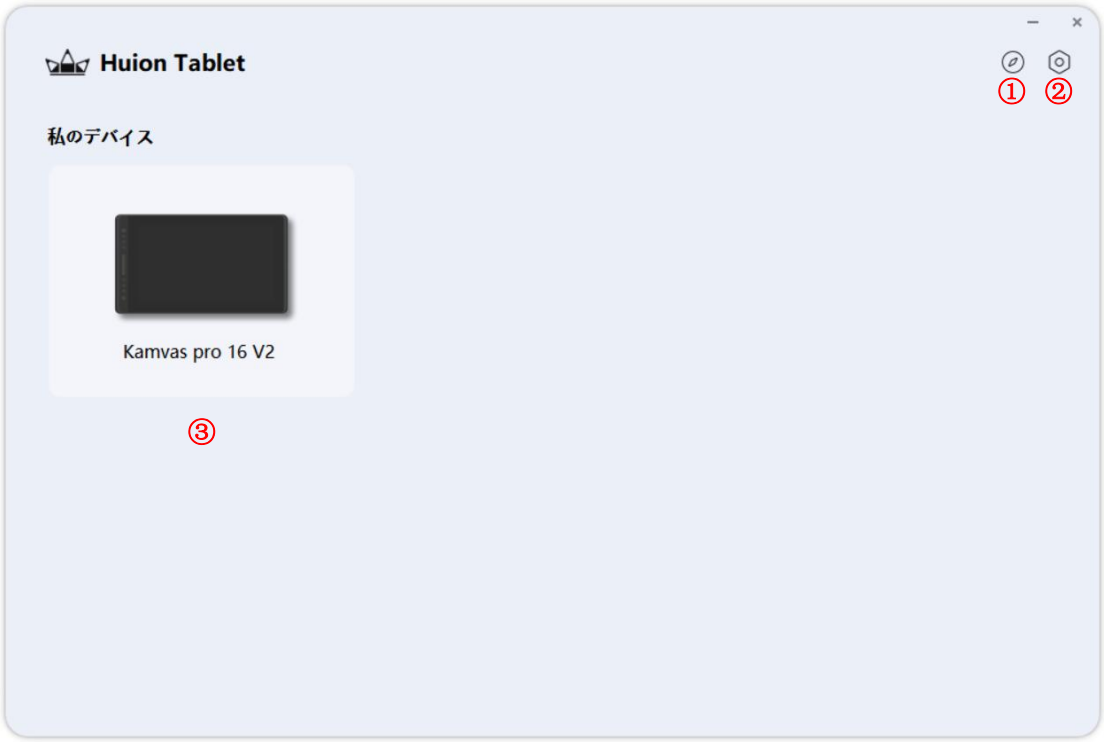
② ペンを傾け、ペンホルダーの背面にある内蔵のペン先クリップから、すり減ったペン先を引き出します。

③ 交換用のペン先を、ペン先が止まるまでまっすぐペン軸に挿入します。



5. Huion Tablet ドライバー

5.1. ドライバーホームページ



5.1.1. 新機能ガイド

ユーザーはここで新機能ガイドを確認することができ、ドライバーの基本機能や設定をすばやく使いこなすことができます。

右上隅の「閉じる」ボックスをクリックするか、ガイドを完了することでページを閉じることができます。



5.1.2. アプリケーション設定

ユーザーはここでドライバーのグローバル設定を調整することができます。設定項目には、ドライバーのバージョンや更新、問題のフィードバック、テーマ、言語、ソフトウェアのホットキー、プライバシー規約などが含まれます。



機能の概要:

自動更新	有効にすると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
更新ログ	クリックすると公式の更新ログにアクセスすることができます。
更新の確認	クリックすると、ドライバーのバージョンが最新かどうか確認することができ、必要に応じて更新の案内が表示されます。
診断の開始	クリックできない、線が引けない、またはアプリケーションで圧力感知が不足している等の問題が生じた場合、「診断の開始」をクリックすることで、その原因を調査できます。
公式ウェブサイト	ブランドアイコンをクリックすると、Huion の公式ウェブサイトにアクセスできます。
フィードバック	「フィードバック」をクリックすると、コンピュータ上でメールアプリケーションが自動的に起動し、デバイス情報が事前に入力され、標準的

	な質問形式が表示されます。
テーマ	テーマカラーを変更し、ソフトウェアを再起動して設定を有効にします。
言語	ドロップダウンボタンをクリックして希望する言語を選択し、ソフトウェアを再起動して設定を有効にします。
ホットキー	ドライバーインターフェースを開く：デフォルトのショートカットを使用してドライバーインターフェースを迅速に表示することができます。自分のスタイルに合わせて独自のショートカットも設定することができます。 マッピング画面の切り替え：デフォルトのショートカットを使用して、ペンタブレット/ペンディスプレイにマッピングされた画面を切り替えることができます。好みに応じて独自のショートカットを設定することも可能です。この画面切替ホットキーは、Huion タブレットドライバーで現在選択されているデバイスに対してのみ動作します。 ドライバーインターフェースを開くためのショートカットを初期状態に戻したい場合は、「デフォルトにリセット」をクリックします。
その他の許可	診断および使用情報の共有：製品やサービスの改善のために、診断および使用データを自動的に送信します。 起動時に自動的に開始：コンピュータの電源がオンになると、ドライバーが自動的に開始されます。 管理者権限：この項目は Windows OS でのみ使用可能です。ドライバーは現在のドライバーページが管理者権限で開かれているかどうかを識別します。この項目は、現在のドライバーページが管理者権限で開かれて

	いない場合にのみ表示されます。

5.1.3. デバイス

デバイス画像をクリックすると、選択したデバイスの設定をカスタマイズできるデバイスページに進みます。

5.2. デバイスページ



5.2.1. デバイス名

1. 選択したデバイスの名前がページの左上隅に表示されます。ドロップダウンボックスをクリックすることで、デバイス間を切り替えることができます。



2. 新しいデバイスが正常に接続されると、通知が表示されます。



5.2.2. 新しいソフトウェアの追加

1. 選択したソフトウェアに対して機能の組み合わせを個別に設定することができます。右

上隅のプラスボタンをクリックすると、デバイス上で最近開いたソフトウェアが表示されます。設定が必要なソフトウェアを選択し、プリセットソフトウェアとして追加します。また、ソフトウェアアイコンにカーソルを合わせると、削除ボタンが表示され、クリックすることで削除できます。

2. プリセットソフトウェアに切り替えると、そのソフトウェアの設定オプションに自動的に切り替わります。

3. 必要なソフトウェアが見つからない場合は、「その他のプログラム」をクリックして、コンピュータから新しいソフトウェアを追加することができます。



5.2.3. デバイス設定

デバイス設定ウィンドウで、ファームウェアの確認や、カーソルのキャリブレーション、ペン設定、バックアップ設定を変えることができます。



デバイス設定オプション：

デバイス情報	デバイスモデルとファームウェアバージョンが含まれます。
カーソルキャリブレーション	「カーソルキャリブレーション」をクリックし、キャリブレーションページに行き、説明書に従ってキャリブレーションを行なってください。もし、間違ってクリックして、カーソルキャリブレーションがうまく行かなかった場合、「工場出荷状態へのリセット」を押してキャリブレーションをやり直してください。
傾き	本当のペンの傾きを再現できます。右側のトグルをクリックし、傾き機能を ON/OFF できます。
ペン先	ペン先機能には、圧力感知や、クリックなどがあります。右側のトグルスイッチを押すことで、ペン先の ON/OFF ができます。
バックアッ	ファイルマネージャーを開き、設定ファイルを選択してバックアップをイン

プのインポート	ポートします。
バックアップのエクスポート	現在の設定をローカルファイルとしてエクスポートし、ファイル名を付けます。
デフォルト設定	現在のデバイスのすべての設定をデフォルトにリセットします。

5.2.4. 機能ナビゲーションバー

押しボタン、作業エリア、バーチャルキーボード、デジタルペンは、好みによってカスタマイズできます。ナビゲーションバーの対応するボタンを押し、それぞれの設定ページに行くことができます。

5.2.5. 困ったときは

[?] をクリックするとサポートページ https://support.huion.com/ja-JP/support/home にアクセスできます。ユーザーマニュアルのダウンロードや不具合報告にご活用ください。

5.2.6. 押しボタンの有効化

押しボタンの機能を ON/OFF できます。

5.2.7. タッチの有効化

タッチバーの機能を ON/OFF できます。

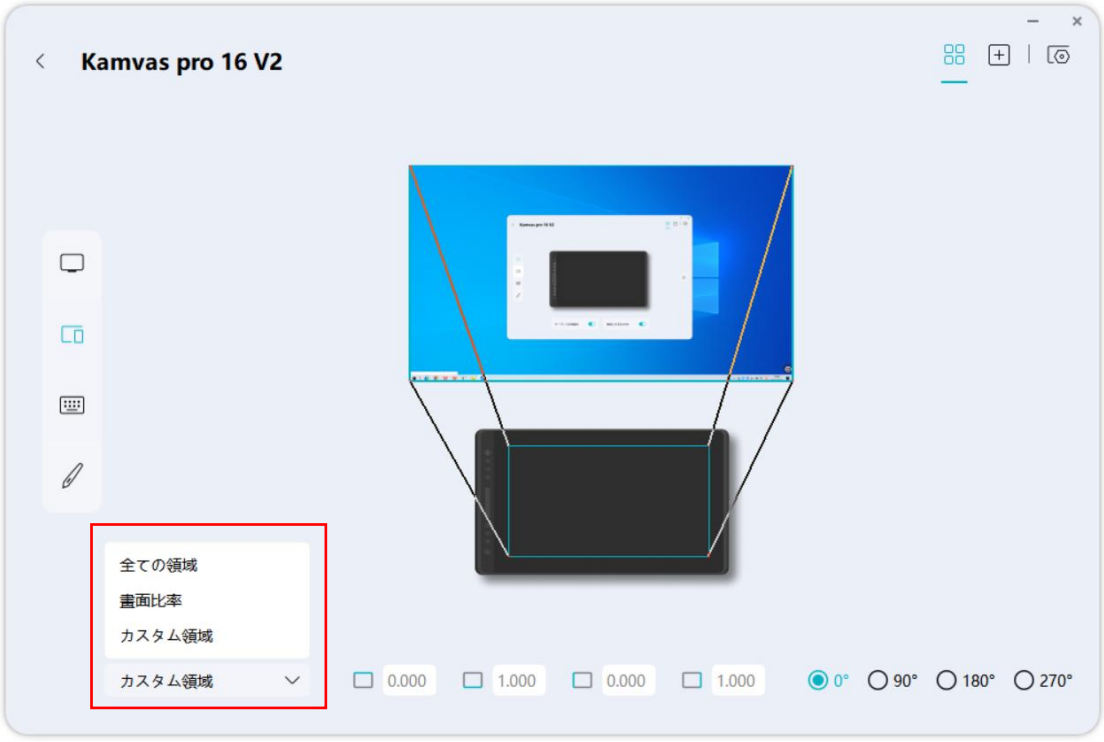
5.3. アクティブエリア設定

[作業領域]タブではペンとモニターの移動範囲を設定できます。初期設定では画面全体がアクティブエリアとして設定されています。

拡張モードで複数のモニターを使用する場合は、対応するモニターとアクティブエリアをドライバで設定します。

複製モード（全てのディスプレーで同じコンテンツを表示）では、アクティブエリアとカーソルは全てのディスプレーで同じ表示となります。

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。



[1] 全ての領域

画面全体をアクティブエリアとして設定します。初期設定は［全画面］です。

［2］畫面比率

ペンディスプレイの作業エリアの比率は、ペンディスプレイを接続したモニターと同じです。例えば、「スクリーン比率」を選択し、ペンディスプレイで丸を描くと、丸は、ペンディスプレイのものと同じ形を保ちます。

ペンディスプレイの一部分は、スクリーン比率モードでは、機能しない場合があることに留意してください。しかし、「スクリーン比率」が選ばれていない場合、描かれた図形は、歪む可能性があります。例えば、丸を描いた時、丸は、モニター上では、楕円に変わってしまう可能性があります。作業エリアの最適な表示と活用するために、描画や、精密な操作を行う場合は、「スクリーン比率」を選択することをお勧めします。

［3］カスタム領域

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

方法 1. 座標を入力します。

方法 2.図 1 のようにアクティブエリアのラインを動かして調整します。カスタムモードではユーザーが指定したアクティブエリアでのみペンを使用することができます (図 2、図 3 を参照）。

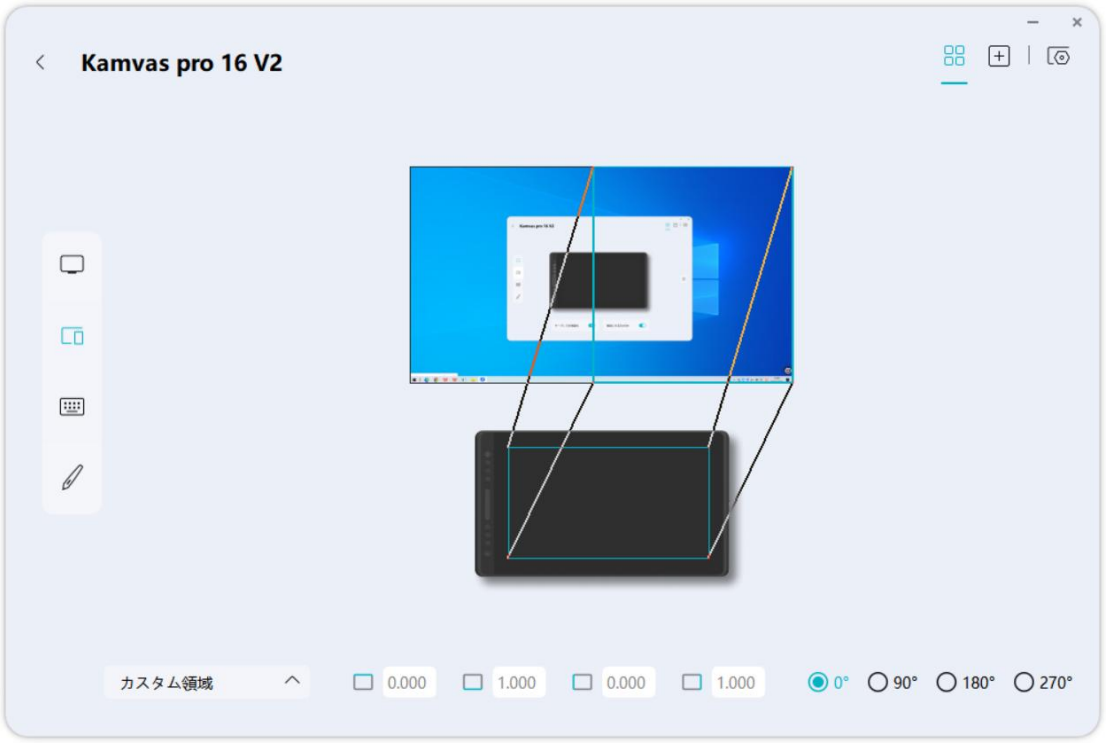

Kamvas pro 16 V2
カスタム領域
0.000
1.000
0.000
1.000
0°
90°
180°
270°

図 1

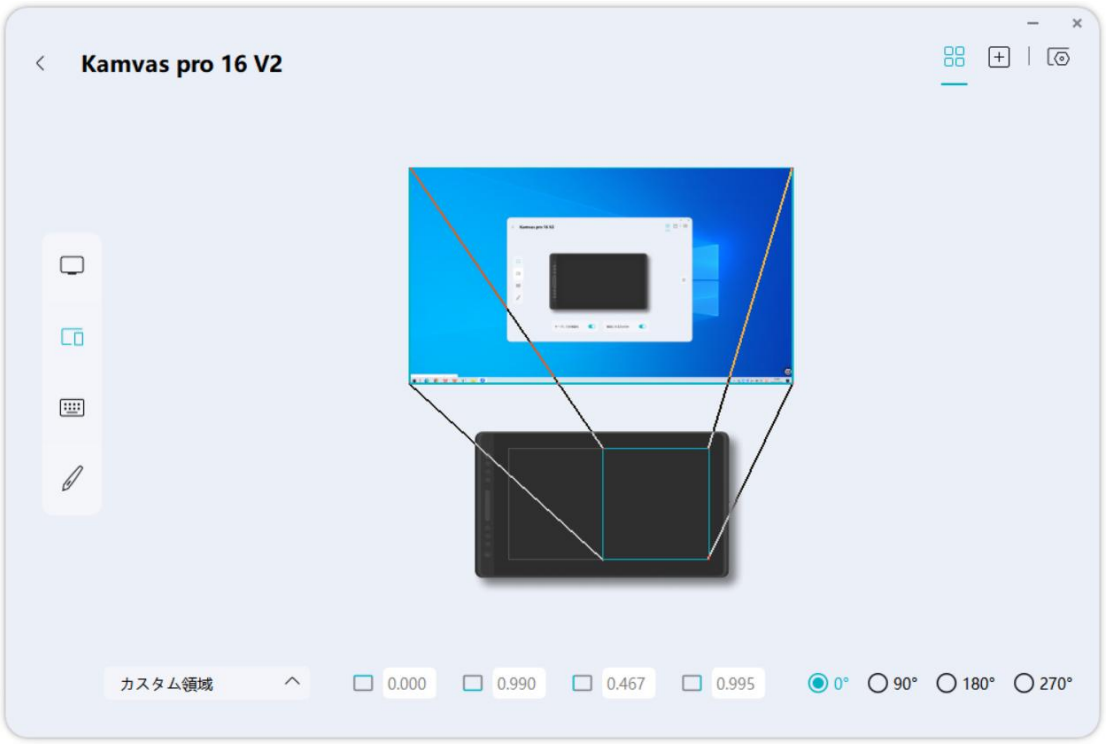

Kamvas pro 16 V2
カスタム領域
0.000
0.990
0.467
0.995
0°
90°
180°
270°

図 2

5.3.1. アクティブエリアの回転

ペンディスプレイの方向を変更して、左利きまたは右利きの操作に合わせることができます。

ペンディスプレイを 0°、90°、180°、または 270°回転させることができます。

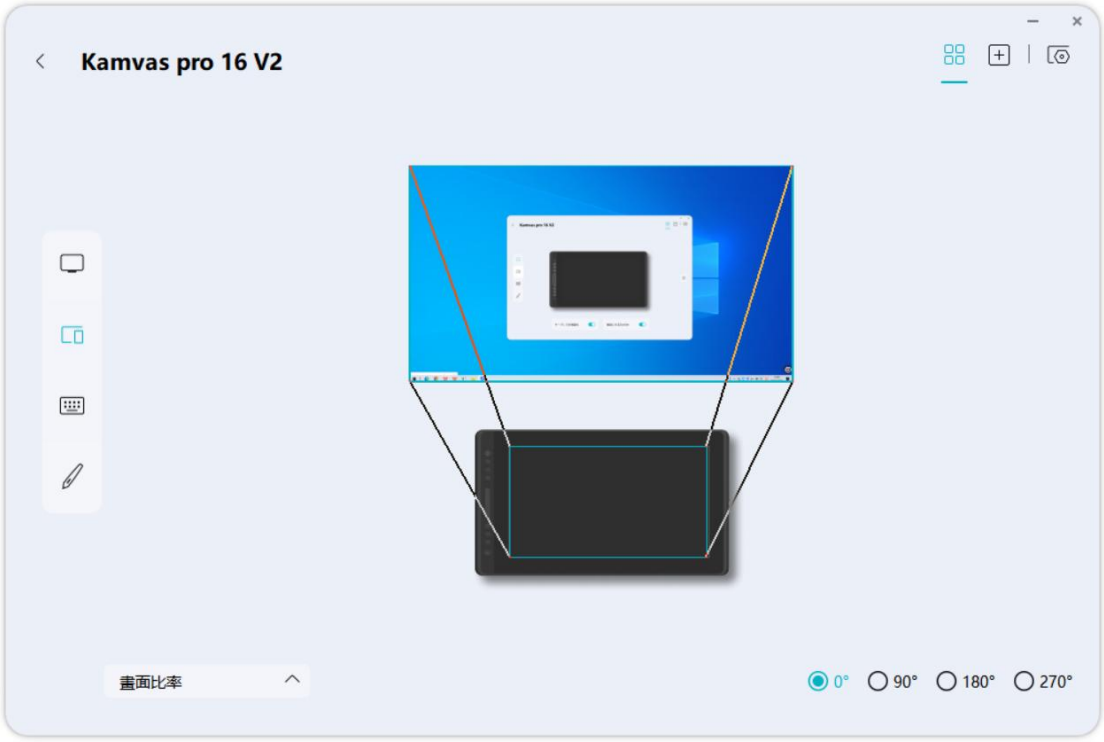


図 1



図 2

5.4. バーチャルキーボード

バーチャルキーボードは、スクリーン上で、高度にカスタマイズ可能なインタラクティブなツールで、テキストの入力や、マウスや、デジタルペンを使ったコマンドの実行を行うことができます。20 個のキーボードレイアウトを作成、保存でき、それぞれに、名前やサイズ、透明度、自分に合ったボタン機能をカスタマイズ、調整することができます。



5.4.1. バーチャルキーボードを作成/削除する

① 「+」をクリックし、バーチャルキーボードを作成してください。

② 円形キーボード、矩形キーボード、横並びリスト型のキーボード、縦並びリスト型のキーボードの中から、好みのキーボードを選ぶことができます。

③ **「バーチャルキーボード」**のトグルを ON にし、デスクトップでのバーチャルキーボードを有効化し使用することができます。

④ 削除したいキーボードを選択します。

⑤ 削除アイコンをクリックしてください。



⑥ ポップアップが現れ、「OK」を押すことで、選択したキーボードを消すことができます。

5.4.2. バーチャルキーボードの有効化

バーチャルキーボードを ON にした後、デスクトップ上にキーボードが表示され、一回使用した後に、消えるように設定されています。右上隅のピンボタンを押すと、常にキーボードを表示することが可能です。ボタン以外のキーボードのどこかを長押しすることで、キーボードをドラッグできます。

5.4.3. 5.4.3. 名前

名前入力欄にバーチャルキーボードの名前を編集することができます。デフォルトの名前は、キーボードのタイプで、空欄にすることはできません。

5.4.4. サイズ

スライダーをドラッグしたり、スライダーをクリックすることで、必要に応じたバーチャルキ

ーボードのサイズを調整することができます。有効になっていないバーチャルキーボードのサイズを設定している場合、対応するキーボードが自動で開かれ、そのサイズを調整できます。そして、調整が完了した 3 秒後自動で閉じられます。

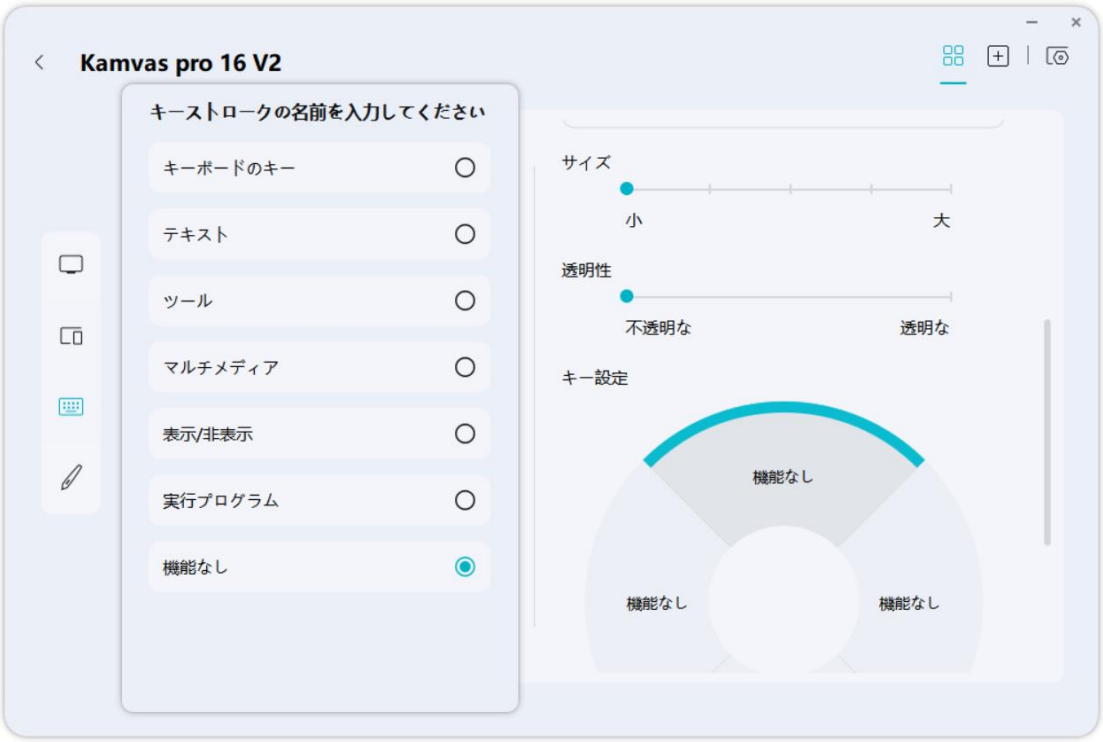
5.4.5. 透明度

バーチャルキーボードが視界を邪魔しないように、スライダーをドラッグしたり、スライダーバーをクリックすることで、バーチャルキーボードの透明度を必要に応じて調節することができます。有効化されていないバーチャルキーボードの透明度を設定している時は、対応するキーボードが自動で開かれ、透明度を調整できます。そして、調整が完了した 3 秒後自動で、閉じられます。

5.4.6. ボタン設定

バーチャルキーボードのボタンをクリックし、対応するボタンの値を設定することができます。





バーチャルキーボードのボタン機能は、以下のように設定することができます:

名前の変更をクリック	クリックして、キーの名前を入力します。新しく編集した名前は、キー値とともに表示されます。
キーボード	入力ボックスをクリックし、有効なキーコンビネーションを入力してショートカットを作成します。
テキスト	最大 500 語の事前定義済みテキストを出力します。
ツール	スクリーンの切り替えまたは、ブラシの切り替えを選択。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能をキーに割り当てることができます。
表示/非表示	ドライバー設定とキーの値を表示または非表示にします。
プログラムの実行	アプリケーション、ファイル、またはウェブサイトの URL アドレスを入力、または、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択し、「OK」をクリックします。設定が完了したら、キーを押して対応するファイル

	を開きます。
機能なし	「None」を選択した場合、キーを押しても何の機能も実行されません。

5.5. デジタルペン

ユーザーは、このインターフェースで、押しボタン機能の割り当て、筆圧感度調整、圧力テストを含むペンの機能を設定することができます。



5.5.1. デジタルペンの切り替え

ペアリングしたデジタルペンのモデルは、ナビゲーションバーに表示され、個別に設定することができます。システムは、自動で接続されたペンを認識し、対応する設定を使用します。他のデジタルペンに切り替える時、システムは、対応するデジタルペンの設定インターフェースに切り替えます。カーソルがデジタルペンアイコンにある時、デジタルペンの名前が表示されます。デジタルペンアイコンの左上隅の「x」をクリックすることで、対応するペン設定を削

除することができます。

5.5.2. ショートカットキー

デジタルペンを使用 して、描画、書き込み、ファイルの移動、ショートカット機能の呼び出しを行えます。



押しボタンの機能は、以下のようになっています:

名前の変更をクリック	クリックして、キーの名前を入力します。新しく編集した名前は、キー値とともに表示されます。
キーボード	入力ボックスをクリックし、有効なキーコンビネーションを入力してショートカットを作成します。
テキスト	最大 500 語の事前定義済みテキストを出力します。
マウスボタン	マウスの左ボタン、右ボタン、中央ボタン、左ボタンのダブルクリック、スクロールホイール、その他機能の設定。
ツール	スクリーンの切り替えまたは、ブラシの切り替えを選択。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能をキーに割り当てることができます。

表示/非表示	ドライバー設定とキーの値を表示または非表示にします。
精度モード	スライダーを動かして、動かしたい精度を設定してください。高い精度にすると、精度モードのウィンドウは、小さくなります。 ショートカットキーを押した後、精度モードのウィンドウは、カーソルの場所に現れます。ペンタブレットの作業エリア、または、ペンディスプレイは、このウィンドウに割り振られます。ショートカットキーをもう一度押すと、精度モードから出ることができます。
移動/スクロール	ペン先を上下または左右に動かすことで、ドキュメントやアイテムを移動できる機能です。 移動/スクロールを選択すると、速度ウィンドウが表示されます。 スライダーを動かして速度を調整します。
バーチャルキーボード	それを選択し対応するバーチャルキーボード機能を呼び出すためのショートカットキーを割り当てることができます。ここをクリックしてバーチャルキーボードの詳細を確認してください。
プログラムの実行	アプリケーション、ファイル、またはウェブサイトの URL アドレスを入力、または、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択し、「OK」をクリックします。設定が完了したら、キーを押して対応するファイルを開きます。
機能なし	「None」を選択した場合、キーを押しても何の機能も実行されません。

ご注意：表示されるリストは機種によって異なる場合があります。ファームウエアアップデート等によりリスト内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

5.5.3. Windows Ink の有効化

Microsoft Windows は、デジタルペンによる手書き入力を独自にサポートしています。Microsoft Office、Windows Whiteboard、Adobe Photoshop、SketchBook 6 などで手書き入力を使用するには、ドライバーで「Windows Ink を有効にする」にチェックを入れます。

注意：macOS と Linux OS はこの機能を使用できません。

5.5.4. 筆圧感度の調整

筆圧感度を設定する機能です。筆圧感度ボックス内のスライダーをドラッグしてカーブを調整します。リセットするには右上の「やり直し」をクリックします。5 種のプリセットからレベルを選ぶこともできます。

① クリック音や感触を設定

② 筆圧感度のカーブを設定

③ 筆圧最大時のレベルを設定

- 筆圧テストボックス内で線を描き、現在の筆圧感度を確認できます。見づらくなったら上の［消去］をクリックし、適切な感度になるまで調整を行います。
- カーブが急になるほど感度が高くなります。



5.5.5. 筆圧テスト

筆圧カーブの変更や、最大圧力の調整した後、ペン先を筆圧テストエリアに押し当てることで、

加えた圧力と、その結果の関係をリアルタイムで確認することができます。右のバーグラフは、リアルタイムで圧力の変化を表示します。筆圧テストエリアの上部の「クリア」をクリックすることで、描かれたストロークを消し、再度テストを行うことができます。この機能は、デジタルペンの筆圧感度設定を直感的に調整、テストでき、自身の使用スタイルに合っているかを確認することができます。

5.5.6. 高度な設定

高度な設定で最大圧力を調整できます。最大圧力が低いほど、最大圧力に必要な力が少なくなります。初期設定では、最大に設定されています。




Kamvas pro 16 V2
詳細設定
最大圧力
最大圧力に達する力
強く
軽く
コンタクトクリック
有効にすると、ペン先を画面に接触させながらボタンを押すと機能が作動します
Windowsインク

6. トラブルシューティング

問題	解決方法
カーソルが動くのに筆圧を検知しない	ドライバインストール時に、他のドライバをインストールまたはグラフィックソフトウェアを起動した可能性があります。すべてのドライバーをアンインストールし、起動中のソフトウェアをすべて閉じてから、ドライバーを再インストールします。インストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。
デジタルペンが使えない。	1.本機に付属していた純正ペンを使用してください。 2.ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。
本体のショートカットキーが使えない	1.ショートカット機能が有効になっているか確認してください。 2.ショートカットキーが正しく設定されているか確認してください。
パソコンがスリープモードにならない	ペンディスプレイのアクティブエリアにデジタルペンを置いていませんか? デジタルペンを本機から離して保管してください。
デジタルペンのショートカットキーが使えない	ペン先をディスプレイの表面から 10mm 以内に保持してください。離れすぎると検知しなくなります。
パソコンがペンディスプレ	USB ポートに異常がないことを確認します。問題がある場合

イを認識しない	は別の USB ポートを使用してください。

問題が解決しない場合は [FAQ] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター（service@huion.com）まで電子メールにてお問い合わせください。